

2022年9月27日（第19・20回）

2022 年度JLA 中堅職員ステップアップ研修（2）

領域1：図書館を運営する

策定計画の発表と討議（1）（2）

浅見佳子（鎌倉市中央図書館）

<前回の振り返りとグループ発表討議について>

1 図書館サービス計画の必要性和「望ましい基準」

2 計画立案の各段階と留意点

- (1) 自治体の概要の把握
- (2) 図書館の評価
- (3) 課題とその解決方策 \*サービス計画テーマ事例参照
- (4) 図書館のめざすもの（ミッションとビジョン）
- (5) 図書館協議会
- (6) 市民参画方法
- (7) 評価方法、評価指標と進捗管理
- (8) 広報
- (9) 計画の位置付け

3 グループ討議

①

前回のキーワード：町立レベル（人口一万人程度）／自然あふれる土地（山あり、海なし）／お菓子工場あり観光地化／財政豊か／栗きんとんが有名／栗に関する郷土資料が揃っている強み／地域の人たちとも密接

②

前回のキーワード：

人口：35万人（中核市）

産業：農業を中心とし、都市に仕事に行く人も多い、遺跡などが各所にある

気候：温暖

市のキャラクター：

財政：比較的裕福だが、図書館にはあまり注目されず、予算は少なかった。近年、歴史

文書の発見により注目され、予算増に期待！？

建物：竣工から 40 年経っている歴史ある図書館。老朽化が進んでいる。

城跡に建てた図書館で、最近定説を覆すような歴史資料が発見された。博物館がないため、図書館が適切に管理保存する必要あり

<重点事業案：文化財の適切な保存と活用>

デジタル化→ 市民の注目度アップ、利活用促進

書庫補修、雨漏り補修→ 資料の適正な保存

観光の目玉→ 市外からの来訪者増、税収増

学芸員の配置→ 文化財の新たな魅力発信

### ③

前回のキーワード：

<設定>地域館分館あり、観光名所あり、高齢者多い、自然環境豊か、交通機関は電車、史跡歴史ある街、サービスポイントが少ない

<重点事業案>

非来館型サービス／地域資料電子化／文化財課博物館美術館などと MLAS 連携／寺社仏閣所蔵資料

図書館利用に障害のある人へのサービス拡充／対象は高齢者、障害者、外国人、在宅介護者、妊婦乳幼児保護者、入院患者／SDGs 4 質の高い教育をみんなに

### ④

前回のキーワード：県内人口 80 万人の県立図書館／山や川があり自然が豊か／図書館は街中にあり、交通の便が良い／建て替えて新しい図書館が建ち、新しい事業を始めようとしている

<重点事業案>

郷土資料のデジタル化と提供／全点購入している新刊児童書の利活用／学校への支援

## 4 本日の手順

[グループワーク]ブレイクアウトルームで前回のグループごとに重点課題の決定とそのための具体的施策や事業を肉付け、期間、予算措置等について討議する（60 分）

\* 「どんな図書館にしたいのか（ビジョン）」を念頭に置いて、事業を策定してください。

（休憩）

[グループワーク]ブレイクアウトルームで、画面共有しながらプレゼン資料を 1 画面で作成。ワードでもパワーポイントでも結構です。

発表、質疑応答等役割分担を決める（50分）

（昼休憩）

〔全体発表1～4グループ〕（発表10分質疑10分の後、2グループ発表後休憩をはさんで発表を行います）

全体に向け、画面共有もしながら、想定した対象（理事者、図書館長、財政担当者等）に向け、策定した図書館サービス計画を発表します。

内容の要点とその効果を説明する。発表終了後、適宜、講師より質問を行います。

（休憩）

〔全体討議〕グループ発表後、各グループの発表内容について、課題や見直し点、今後の可能性について討議します。

各グループへの感想、意見、提案を行ってください。（各7、8分程度）

1グループ ← 3グループより感想、意見、提案

2グループ ← 4グループより感想、意見、提案

3グループ ← 1グループより感想、意見、提案

4グループ ← 2グループより感想、意見、提案

〔講師より〕講評とふりかえり（20分）